

自己評価総括書

令和4年1月21日
尾道市立高西中学校

1 ミッション

「中学校区で取り組む『志プロジェクト』の推進

2 ビジョン

高い志とふるさとに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」があふれる学校

- ふるさと学習, キャリア教育を推進する学校
- 安全で, 安心して任せられる学校
- 生徒の可能性を引き出し, 磨き, 高める学校
- 教職員がやりがいを持って活動している学校

3 重点課題における成果と課題 (成果…○ 課題…●)

(1) 集団づくりのカリマネの推進 → 学級力の向上

①学級力向上プロジェクトを軸とした学級力アンケートの活用

○学級力アンケートをもとに学級の課題について話し合い, パワーアップアクションを策定することを通して, 学級力の向上に学校全体で取り組むことができた。

●年間を通じた取組の中で, 学級によっては話し合いがマンネリ化した。 ⇒【改善策①】

②学級力を踏まえた話し合い活動の推進

○事前に話し合いを進行する学級委員と話し合いの重点事項について確認し, 多数決などではなく, 意見を出し合う中で折り合いをつけることに着手した。また, 話し合い活動の後には, 「高西ミーティング」を実施し, 学校全体で取り組む風土づくりができた。

(2) 授業改善のカリマネの推進 → 学力の向上

①確かな学力の定着と意欲を引き出す授業の創造

○生徒自身の生活に関わる学習課題を設定することを工夫した。また, 単元内自由進度学習に挑戦し, 成果や課題を共有することができた。評価基準を明確にしたり, 単元を通じた学びの積み重ねを視覚化したりする工夫ができた。

●授業の中で生徒に身につけさせたいことの精選が不十分である。生徒が何を求めているのか等の実態把握が必要である。 ⇒【改善策②】

②「わかる・できる」授業の展開

○ICTや思考ツールを用いて自分の考えを整理する工夫や, 発表の型を提示し, 訓練していくための授業提案ができた。

○授業スタイルの確立のため, 構造的な板書に関する校内研修を実施できた。

(3) 働き方改革のカリマネの推進 → チーム力の向上

●教職員の業績評価書において「目標をほぼ達成できた」と回答した割合は2/3であった。 ⇒【改善策②】

○学校経営会議等を通して, 各部の主任・主事を中心とした計画的で自律的な業務遂行が進められるようになった。

4 今後の取組の方向、改善策等

【改善策①】アンケートをもとにした課題解決だけでなく, 平素の生活の中でリアルな課題解決力や合意形成力, 意思決定力をつけることができるよう改善を図る。

【改善策②】より生徒の実態に合わせた学びができるよう, 教員が課題を提示するだけでなく, 自らが学習をデザインできるような授業づくりを進める。

【改善策③】面談や日常において, スモールステップでより細やかに指導, 支援を行う。

